

学校評価票（平成29年度年度末）まとめ

香川県歯科医療専門学校

I 重点目標について

1 教育の質の向上

【自己評価】

年2回の教員相互授業参観週間を設け、授業力向上に努めるとともに、授業に新しい手法を取り入れるなど、工夫・改善に取り組んだ。また、生活習慣の向上、確立により人間力を高めることを通して、学生の質の向上を図る試みを行った。

【学校関係者評価】

- ・新しい手法プラス将来性のある授業を盛り込んでほしい。
- ・常に最先端の情報収集に取り組んでいることを評価したい。
- ・教員相互の授業参観等を継続し、今後も授業力向上に努めてほしい。

2 国家試験合格率の維持・向上

【自己評価】

衛生士科では、早期から国試対策講座を実施して弱点強化を図り、また、既卒生に対する受験指導を密に実施するなど、卒後も継続的に支援を行った。
技工士科では、全国模試受験や3県合同実技講習会に参加するなど様々な方策を講じてきた。
結果、衛生士科、技工士科ともに合格率100%を達成できた。

【学校関係者評価】

- ・国家試験はとにかくテストの用紙、ページを飛ばさないこと。学校の試験より国家試験の方が易しいので、最後はつまらないところでミスをしないことが大切。
- ・国家試験合格率100%を達成でき、国家試験対策強化の効果がみられた。来年度以降も継続し、100%を実現するよう努力してほしい。
- ・常に合格率100%を目標に、早めの対策を継続できるよう頑張してほしい。
- ・両科ともに全員合格は大変すばらしく喜ばしい。支援に感謝したい。

3 学生募集活動の強化

【自己評価】

歯科技工士、歯科衛生士の職業理解を第一に、学校案内パンフレットを一新し、ガイドンスやオープンキャンパス、ホームページ、広報にも工夫を凝らして実施した。昨年度取り入れたTVコマーシャルを今年度も放映し、広くPRを行った。入試の志願者、合格者は衛生士科で昨年より増加したが、技工士科は一般入試合格者で辞退者があり、入学者は定員に達しなかった。

【学校関係者評価】

- ・パンフレット、TVコマーシャルに医療職としてのPRをもっと出せば、より興味を持ってもらえると思う。
- ・学校に来ている講師（技工士やドクター）にも協力してもらい、県下の市町の広報誌に本校の記事を掲載することはできないか。
- ・TVコマーシャルは大変良くできていると思う。予算的な問題はあると思うが、もう少し放映時間を長く出来れば良いと思う。
- ・広報活動に工夫を凝らすなど、積極的な学生募集の結果、効果がみられた。
- ・医療人としての魅力をアピールして、意識の高い学生に入学してほしい。

4 教育環境の整備・安全管理

【自己評価】

教室、実習室等の設備や環境は、学生の更衣室、ロッカーを改善するなど、安全面に配慮した整備を行った。安全確保の観点から、登下校時や実習時における注意喚起など、事故が起こらないよう学生に対して日頃からの意識づけを行い、実習時の軽微な事故が数件あったが、年度をとおして大きな事故はなかった。

【学校関係者評価】

- ・学生は大人になりきれていない為、社会の教育もお願いしたい。
- ・学生は一般的に大学生と同等であり、もう少し学生本人の評価を取り入れてはどうか。
- ・設備は以前より良くなっているが、入ってくる学生は今は当たり前と思っている。そのギャップを教職員が上手く埋めてほしい。
- ・歯科医療の最新情報を把握し、最新機器の導入や歯科器材の拡充を継続してほしい。
- ・実習時の軽微な事故でも、原因の分析と対策を検討し、再発防止に取り組んでほしい。

II 学校自己評価項目について

1 教育実践の質的向上

(1) 授業改善

【自己評価】 (A)

第1回授業参観週間(6/12～30)、第2回(11/6～24)の参観週間では、専任教員全員が各4回ずつ、計44回の参観を行った。外部講師の授業を参観したり、理事の先生に参観をお願いするなどにより、改めて自分の授業を見直すよい機会となった。授業改善と併せて、今後は学生が主体的に学べるよう「学び方」の指導も行っていく予定である。

【学校関係者評価】

- ・ 技工士会、衛生士会OBも参観できるようにしてはどうか。

(2) 教育研究

【自己評価】 技 (A) / 衛 (A)

研修会等参加(4/1～3/31)、技工士科(教員5)：延37人 衛生士科(教員6)：延63人

(技) 年度内に予定している研修はすべて参加したが、今後も技工士会主催の生涯研修や、自主参加の研修会などに積極的に参加する。

(衛) 自主参加の研修会も含め、積極的に研修に参加し、教員の資質向上に努めることができた。今後も引き続き学び、更なる質的向上に努めたい。

【学校関係者評価】

- ・ 日進月歩の歯科医療にとって、研修会参加を勧めると同時に、自主参加を促してほしい。
- ・ 生涯研修として、技工士会には年2回基本研修、自由研修がある。学生の受講も今以上に行ってほしい。
- ・ 今後も積極的な研修会等に参加し、最新の歯科医療の動向を把握しながら、教育の質の向上につなげてほしい。

2 学習・実習指導の充実

(1) チャレンジ試験

【自己評価】 技 (A) / 衛 (D)

(技) チャレンジ試験以前の再試験、再々試験段階で合格点に達するよう計画的に指導、評価する。

(衛) 1年生のチャレンジ試験対象者が非常に多い。早い時期からの学習習慣の定着を促す必要がある。

【学校関係者評価】

- ・ 衛生士科1年の11名は多い。高校とは違い専門的知識が難しいのかもしれないが、常に小テストなどを繰り返し、修得できるようにすべきであろう。

(2) 国家試験

【自己評価】 技 (A) / 衛 (A)

国家試験合格率100%、技工士科、衛生士科ともに全員合格を達成した。
(技) 全国模試、学内考査の実施、定期的な学説、実地問題を行い、学力・技術力向上に努めた。(衛) 例年より3カ月前倒しして国家試験対策を開始し、その成果が結果として現れた。次年度も同様に開始し、その都度評価を行いながら取り組みたい。

【学校関係者評価】

- ・ 国家試験対策強化が結果につながって良かった。引き続き、傾向や動向を分析し、早期からの国家試験対策をお願いしたい。
- ・ 次年度も100%合格を目指してほしい。

3 学習募集の強化

(1) オープンキャンパス

【自己評価】 技 (D) / 衛 (A)

(技) 7月8月の参加者数が減少し、特に高2生、社会人の参加者が少なかった。ホームページ等での参加募集や、特に社会人への広報活動、デジタル技工の発展性をPRしたい。
(衛) 県内外から多く来校し、男子学生の参加もあった。体験学習および在校生との交流時間を多く持ったことが好評だった。次年度は保護者対応を更に充実させたい。

【学校関係者評価】

- ・ オープンキャンパスにメディアを使ってPRが必要なのでは。ドアをたたかなければ扉は開かない。体験学習は良い。
- ・ 県下他校のオープンキャンパスも参考にしてみては。本校の目玉は何かを明確に。
- ・ 技工士会や企業などとコラボしたオープンキャンパスを検討してみては。
- ・ 学生が参加しやすい日程を検討し、オープンキャンパスで学校への関心を深めてもらうよう工夫や充実を引き続きお願いしたい。
- ・ 最近はオープンキャンパスに保護者同伴が多い。保護者にも学校のアピールを十分行くと、志願者も増加すると思われる。
- ・ 保護者の理解を得ることは大切であり、これまで通りPRに努めてほしい。

(2) 入学試験

【自己評価】 技 (C) / 衛 (A)

(技) 一般入試を加えて合格者は20人になったが、辞退者が出たため入学者は定員を若干下回った。次年度は広報をより充実させ、特に既卒者、社会人の受験者を増やしたい。
(衛) 受験定員以上の応募があり、歯科衛生士を目指す意思を強く持った人材を確保できた。引き続きホームページ・新聞広告等で周知し、現役生及び既卒者の募集を募る。

【学校関係者評価】

- ・ 各高校の進路担当者とはどういう関係を持っているのか。
- ・ 衛生士科では定員以上の応募があり、様々な学生募集強化の効果がみられた。
- ・ しっかり意思を持った学生に入学してもらい将来の歯科医療を担う人材になってほしい。

4 情報発信

(1) ホームページ

【自己評価】 (B)

ホームページ更新回数：3/31 現在 49回

ホームページのリニューアルを行った。次年度もオープンキャンパス、学校見学、入学試験や学校行事などイベント毎にタイムリーな更新を行い、更に充実させていきたい。

【学校関係者評価】

- ・ ホームページ内の動画を多く使った方がよりアクセス数が増えるのではないかと。
- ・ ホームページのリニューアルや更新回数を増やす等、時代に沿った広報活動の工夫が見られ、効果も期待できる。
- ・ 学校への関心力向上につながるため、更新により最新情報を発信してほしい。
- ・ 今後もよりわかりやすく興味を持てるようなホームページ作りに努めてほしい。

5 進路指導の充実

(1) 就職・進学

【自己評価】 技 (A) / 衛 (A)

(技) 年度内に全員進路先を決定することができた。今後は企業見学等を夏季休業中に行うことで、早期に全員が進路決定することを目指す。

(衛) 12月までに41名、2月末までに全員の内定が決まった。国家試験勉強に集中するためには、年内(12月中)の全員内定を目標とする。

【学校関係者評価】

- ・ 社会人として本人が何に向いているのか、何がしたいのかを教えるのも教員の仕事なのだから、寄り添う進路指導をお願いしたい。
- ・ 全員進路先が内定し、進路指導が充実した成果と思われる。
- ・ 学生から社会人への不安感、技術面、メンタル面など、就職に向けての不安は個人差があるものの、ほぼ全員あると思われるため、しっかりサポートしてほしい。

6 学生指導

(1) 生活指導、生活習慣の確立

【自己評価】 技 (C) / 衛 (D)

(技) 学生の自己管理不足ではあるが、教務の指導不足でもある。学生への意識づけが必要である。遅刻回数が多い学生には引き続き生活環境の改善・指導を行っていく。

(衛) 遅刻の目立つ学生に指導を行っているが、改善には繋がっていない。1年生の遅刻が多く、社会人になる自覚を持って行動できるよう、日々のHR等を活用して継続的に根気強く指導を行う必要がある。

【学校関係者評価】

- ・遅刻の主原因は何か。居住地の遠近、交通手段等にもよるが、教務と言うより自己責任、校則の徹底をお願いしたい。
- ・生活習慣を変えるのは大変だが、根気強く学生個々への指導やサポートをお願いしたい。
- ・医療人としては自己管理が重要である。改善しない学生にはハンディをつけるなど、厳しい対処が必要ではないか。
- ・一部の学生には指導が必要かと思われるが、全体的に見て、本校は好印象を与えていると思う。

(2) 適応指導、中途退学

【自己評価】 技 (B) / 衛 (C)

(技) 1年生については、試験前後(試験結果)に勉強意欲を無くさないよう、面談等を行う。2年生についても、全員の国家試験合格を目標に、個々の学生指導を行う。

(衛) 1年生2名が2月に進路変更により退学、更に1名が3月に原級留置決定後退学した。各学年において個別面談等も行いながら、一人ひとりに合った対応を取っていく。

【学校関係者評価】

- ・引き続き、学生個々に合った細やかなサポートをお願いしたい。
- ・全員が途中で断念することのないよう、魅力ある学校づくりを目指すとともに、技工士、衛生士になる夢をあきらめないよう、教員および家庭でも後押しが必要と思われる。

7 安全管理

(1) 安全教育の徹底

【自己評価】 技 (A) / 衛 (B)

(技) 原動機付自転車での登校時、路面凍結による転倒で1名軽傷。引続き実習中および登下校時、休日等での事故について気をつけるよう指導していく。

(衛) 臨床実習オリエンテーションや長期休暇前、HR等で折に触れ継続した指導を行う。併せて、インシデント報告を行い情報を共有し、事故防止に努める。

【学校関係者評価】

- ・職を失う危険性を十分持っているため、学生各自の自覚を促してほしい。

III 学校評価他、本校の取組み全般について

【学校関係者評価】

- ・学生への就職・進学先の選択肢をより多く提供できるよう希望する。
- ・学校側から学生に対して様々な面で工夫をこらして教育指導を行っていることは非常に評価できる。一方で、学生の自主性に欠ける部分が見受けられる。今後学生の自主性を養う点が大きな課題と思われる。
- ・学校改善への職員の積極的な取組みが分った。今後も全職員で継続して取組んでほしい。
- ・取組みは素晴らしいと思う。今後もより良く発展させてほしい。